



## ベトナム版 年初めの厄払い

北陸銀行 国際部  
 ホーチミン駐在員事務所  
 グエン・ゴク・ビン・アン

### 1. はじめに

ベトナム人は、誰しも運気の良い年と運気の悪い年があると信じています。一年の中で遭遇する順調な出来事や困難は、自分自身の干支と深く関係していると言われていす。長年の信仰から、多くのベトナム人は新年の初めに神聖な場所を訪れ、お参りをして幸運を祈ります。



### 2. 精神的な信仰

信仰は古くからの民間伝承に基づいており、毎年、天上の神が交代で人間界の出来事を司るとされています。その年の守護神は、ベトナム語で「太歳（タイ・テウエ）」と呼ばれ、その人の善行や悪行を見極め、運命を決定します。

ベトナムでは、西暦のほかに、運勢をみる際に使用される暦もあります。これはベトナムでよく使われる「数え年」のことで、陰暦に基づいて計算されます。陰暦では、10の天干と12の地支（十干十二支）を掛け合わせた60通りの組み合わせがあり、60年で一巡するため、60柱の神々が交代で「太歳の神」を務めます。

太歳の神は武将としての出自を持ち、大將軍として知られています。それぞれの太歳の神の特徴は、その年の運気を象徴し、人々の幸福、健康、幸運はその年の太歳の神に影響を受けるものとされています。太歳の神は、人々の善行と悪行を記録しており、人々が日々慎重に行動し、健康に留意し、悪事を避け、善行を積むことの大切さを教えていると伝えられています。

また、12年の周期ごとに、特定の3年間は「三災（タム・タイ）」にあたりとされ、運勢が低下すると考えられています。日本で言う「厄年」のイメージです。具体的には、以下の通りです。



ホーチミン市5区  
 Thien Hau Pagodaにて  
 (筆者撮影)

申・子・辰の干支生まれは、寅・卯・辰の年に三災が訪れる

寅・午・戌の干支生まれは、申・酉・戌の年に三災が訪れる

亥・卯・未の干支生まれは、巳・午・未の年に三災が訪れる

巳・酉・丑の干支生まれは、亥・子・丑の年に三災が訪れる

「三災」の年は仕事や経済面での困難が生じやすいとされています。そのため、多くのベトナム人は新年の初めに寺院で厄払いの儀式を行います。

### 3. 厄払いの儀式

今年の旧正月、筆者はホーチミン市5区にある有名な寺院を訪れました。

毎年旧正月には多くの参拝者が訪れ、厄払いの儀式が行われます。厄払いには事前予約が必要となっており、職員に誘導されながら線香の煙で満ちた境内を進んでいきました。

ある祈祷師によると、厄払いは1年に4回、生まれ月によって定められた「忌月」に行うのが望ましいとのこと。儀式は3つの祭壇で行われ、それぞれに線香、紙の供物、果物などをお供えします。



紙の供物(筆者撮影)

#### (1) 参拝の手順

まず初めに、「虎神」と「靈石」の祭壇でお参りをします。交通安全や仕事上の安全を祈願し、邪悪な運勢を追い払います。参拝者は、祈祷師の経文に合わせて地面に膝き祈りを捧げます。

次に、「財神」と「馬神」の祭壇でお参りをを行います。財神には商売繁盛を、馬神には仕事の円滑な進行を祈願します。

最後に、「太歳神」の祭壇で祈祷を行います。ここでは、最も長く念仏を唱え、厄払いの儀式を行います。儀式の途中、陰陽を象徴する二枚の木片を投げ、神からの吉兆を確認します。一度目で吉兆が出れば、運気が良いとされ、その年の仕事が順調に進むと考えられています。儀式の最後に、太歳神の前を時計回りに3周歩く「運氣転換」を行い、厄を払います。参拝後、参拝者は神々からの「お年玉」を受け取ります。

祈祷師の話では、本寺院は約200年前にホーチミン市に移住した華僑によって建立されました。主祭神が天后であるため、漁師や商人が安全祈願のために頻繁に参拝していました。こうした風習が現代に至るまで「厄払いの儀式」として受け継がれているのだそうです。

#### (2) 人々の願い

数十年にわたり厄払いの儀式に携わっている祈祷師は、「心から人々の平安と成功を願いながら儀式を執り行っている」と語っていました。また、参拝者の中には仕事運を上げるために訪れた方もおり、「お参りをすると心が落ち着く。『信じる者は救われる』と思って参拝した。」と話していました。

## 4. おわりに

経済成長が加速するなか、精神文化や信仰への関心が広がっています。民間信仰の神々への祈願は、人々の心を自然な価値観へと回帰させる重要な役割を果たしています。古くからの慣習を通して、善行を積むことの重要性が示され、日常生活の不安を和らげる助けとなっています。寺院を訪れ、参拝することは大切な経験です。そこには、自分自身の生活の意味を見つめ直し、前向きな気持ちで現実の世界に戻らせる見えない力が働いています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。  
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp